

【米田主宰の俳句】

明日葉

米田規子

俳のあるにはありて梅雨の星
六月や鍋に小さな疵の増え
明日葉をパリツと揚げて健やかに
父の日の直立不動のちちであり
でで虫や朝からねむい日の手足
調律が終わりアガパンサスの昼
若返ることの叶わぬ更衣
夏草や紙と鉛筆無力なる
思い出の半分以上夏の海
夕空青く夏の匂いのバスタオル